

阿賀野市地域公共交通網形成計画について

【阿賀野市地域公共交通網形成計画】

- 策 定 日 平成 29 年 3 月 27 日
- 実 施 時 期 平成 29 年度～平成 32 年度（令和 2 年度）
- 目標を達成するために行う施策

施 策			今まで取り組んだ内容	
阿賀野市の公共交通網の確保	市外への交通の維持・充実	施策 1	JR 羽越本線の維持・充実	○JR 羽越本線の運行本数を維持 ○県・他自治体と連携しながら JR に要望
		施策 2	高速バス路線の維持・充実	○高速バスの運行本数を維持 ○新潟～五泉・村松線の高速バスについて、関係市と連携して財政支援（H30） ○安田 IC のパークアンドライド利用促進（広報 PR）
		施策 3	民間路線バスの維持・充実	○民間路線バスの運行本数をおおむね維持 ・新潟～水原線：1 日 51 本→48 本 ・新潟～沢海～京ヶ瀬営業所線：1 日 11 本→10 本
	市内交通の維持・改善	施策 4	市営バス路線の改善	○分田線において、通学時間帯の電車（新津行き）に接続改善 ○デマンド交通の実証運行開始
		施策 5	その他の交通手段への支援	○民間路線バスや市営バスの運行が困難な時間帯について、タクシーを紹介
公共交通を支援	公共交通を支援	施策 6	公共交通ネットワークの形成	○鉄道、民間路線バス、市営バスの接続時刻に考慮した運行ダイヤの設定 ○安田支所建て替えにおける待合環境、バスの乗入れスペースの確保
		施策 7	乗り継ぎ拠点の利用環境の向上	○バス停上屋の整備（H29）1カ所、（H30）2カ所 ○パークアンドライド駐車場のライン引き、看板整備、利用促進（広報 PR）
		施策 8	利用促進に向けた啓発・情報提供活動	○広報に公共交通の特集記事を掲載 ○マイ時刻表作成サービス ○75 歳以上の方に市営バスフリーパス交付 ○新高校 1 年生向けに利用促進チラシ配布
	関連施策と連携して支援	施策 9	高齢者免許返納制度の充実	○高齢者免許返納者への市営バス無料期間を「2 年間」から「無期限」に拡充
		施策 10	観光施設・商店街との連携による地域振興	○新潟から五頭温泉郷へのアクセス方法を HP に掲載 ○観光施設に時刻表設置
		施策 11	運転手の確保に向けた支援	○運転手の接遇向上のため運行業者と情報を交換 ○広報特集においてバス運転手の仕事を紹介

○計画における評価指標と目標値

		評価指標	現況値 (H28)	現状 (R1)	目標値 (H32)	関連する目標
本計画における評価指標と目標値	総合計画との整合を図る指標	公共交通機関の満足度※1	(H27) 57.0%	45.7%	65%	目標 1:高齢者や学生など誰もが利用しやすい公共交通の構築 目標 2:市内外の交流促進に結びつく交通体系の整備 目標 3:市民と行政の協働により公共交通を維持
		市内移動の公共交通機関の満足度※1	(H27) 67.3%	48.3%	70%	目標 1:高齢者や学生など誰もが利用しやすい公共交通の構築 目標 3:市民と行政の協働により公共交通を維持
		市外移動の公共交通機関の満足度※1	(H27) 46.6%	43.0%	60%	目標 1:高齢者や学生など誰もが利用しやすい公共交通の構築 目標 2:市内外の交流促進に結びつく交通体系の整備 目標 3:市民と行政の協働により公共交通を維持
		観光客入込客数	1,181,568人	1,208,159人	1,400,000人	目標 2:市内外の交流促進に結びつく交通体系の整備
本計画独自の評価指標と目標値	市民1人あたりの市営バス年間利用回数	2.65回/年	2.28回/年	2.74回/年	目標 1:高齢者や学生など誰もが利用しやすい公共交通の構築 目標 3:市民と行政の協働により公共交通を維持	
	市民1人あたりの水原駅年間利用回数	6.9回/年	(H30) 6.6回/年	7.1回/年	目標 1:高齢者や学生など誰もが利用しやすい公共交通の構築 目標 2:市内外の交流促進に結びつく交通体系の整備 目標 3:市民と行政の協働により公共交通を維持	
	住民の公共交通利用率	53%	25.8% (R1 まちづくりアンケートより)	68%	目標 1:高齢者や学生など誰もが利用しやすい公共交通の構築	
	公共交通の理解を深めるイベントの開催件数	1件/年	0件/年	2件以上/年	目標 3:市民と行政の協働により公共交通を維持	

※1 公共交通機関の満足度とは、まちづくりアンケートで「市内の移動に関する公共交通(バス停)、新潟市や新発田市等の市外への移動に関する公共交通(電車、バス等)について満足していますか。」との問いに対し、「満足」「どちらかといえば満足」「ふつう」と回答した市民の割合である。

- 計画の検証 計画の最終年度において計画全体の達成状況を検証する。
⇒第2期目の計画について策定したい。

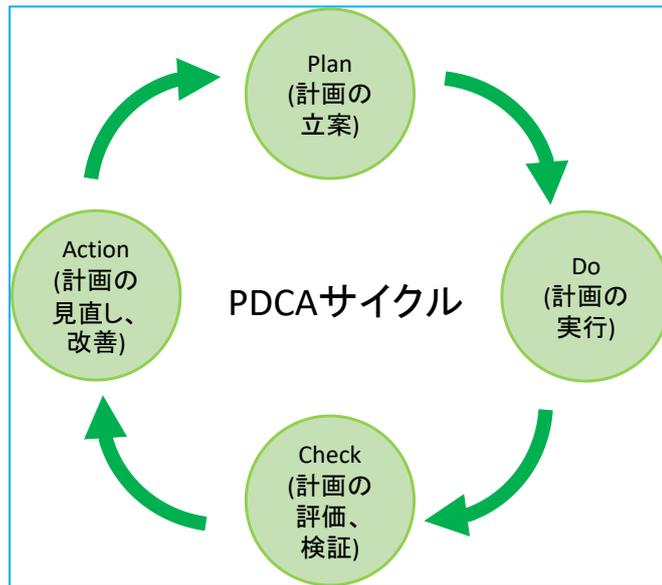


図 PDCA サイクルのイメージ

○今後のスケジュール

	R2.7	R2.8	R2.9	R2.10	R2.11	R2.12	R3.1	R3.2	R3.3
事務局		●————→ 計画期間における施策の実施状況の確認、評価指標の取得、第2期目に向けての計画内容の検討							
協議会	●								● 計画全体の検証 今後の計画